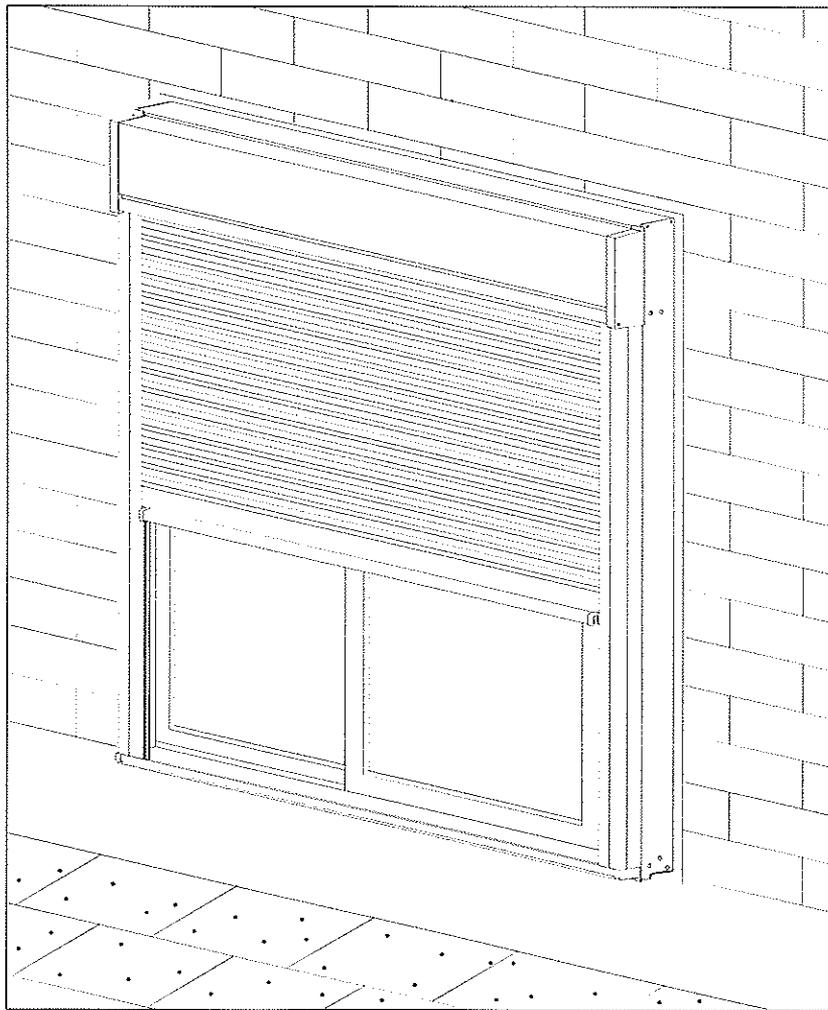


〈お客様用〉

『アルプラクラス』・『アリッツ』

アルミ電動・スチール電動タイプシャッター 取扱説明書



ご使用の皆様へ

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

電動タイプをご使用のお客様へ

配電ブレーカーを0Nにしてから、シャッターを初めてご使用になるときは必ずはじめに各シャッターの近くに設置してある操作スイッチの「開」ボタンを押してください。
HA 機器（ホームコントローラー等）での操作はできません。
（詳しくは14ページ「通電後の操作方法」をご覧ください。）

! 安全にお使いいただくために

●シャッターのご使用前にこの「ご使用上の注意」をよくお読みいただき、理解してからご使用ください。

●本取扱説明書では、安全にご使いいただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。

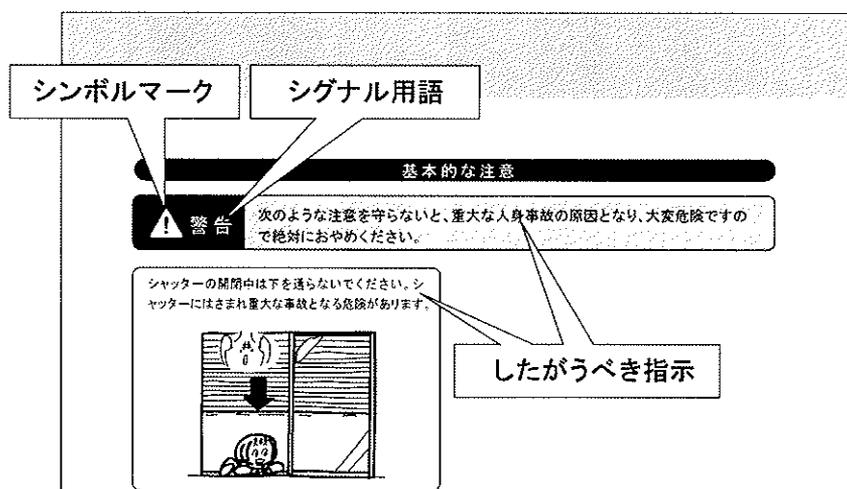


取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第3者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第3者が、軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

本文では以下のように使用します。「シグナル用語」に続く指示を十分守らないと、人身事故につながるようになります。



●上記以外の「お知らせ」には次のようなシグナル用語を使用しています。

注記

取扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

1. ⚠️ご使用上の注意

- この章に記載されている内容をよくお読みいただき、完全に理解したうえで窓シャッターをご使用ください。
- この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出してお読みいただけるよう大切に保管してください。
- 窓シャッター屋内側に貼付けされている表示ラベルと、この取扱説明書すべての注意および指示にしたがってください。

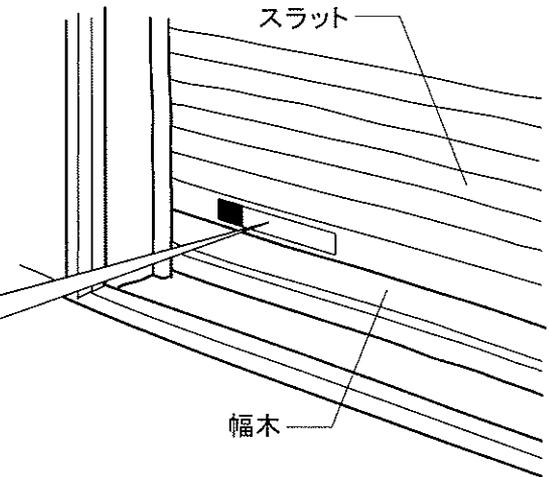
表示ラベルについて

- 本製品には、危険と安全に関する注意情報を記載した、表示ラベルを貼付けています。表示ラベルの指示には必ずしたがってください。

表示ラベル

シャッターの機種と注意情報が記載されています。

《窓シャッター内観》



各機種の説明

【電動タイプ】

スチール電動タイプ

(表示ラベル )

- ・スチール製スラット
- ・操作スイッチにより電動でシャッターを開閉させます。

光電センサー付電動タイプ

(表示ラベル )

- ・スチール製スラット
- ・操作スイッチにより電動でシャッターを開閉させます。

アルミ電動換気採光タイプ

(表示ラベル )

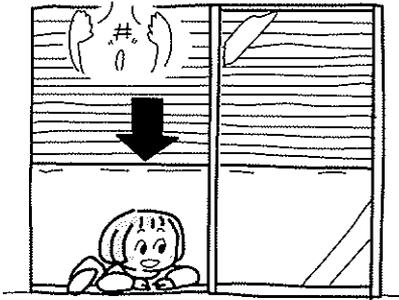
- ・アルミ製(スリット孔付)スラット
- ・操作スイッチにより電動でシャッターを開閉させます。
- ・操作スイッチの操作により任意の位置で換気採光状態にできます。

基本的な注意

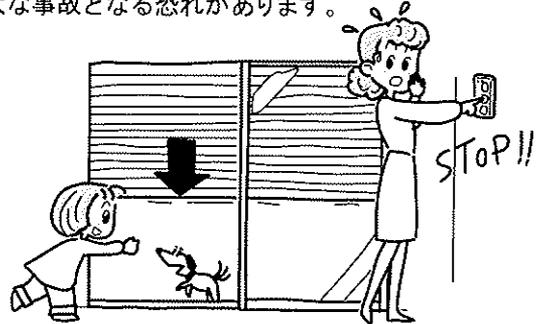


次のような注意を守らないと、重大な人身事故の原因となり、大変危険ですので絶対におやめください。

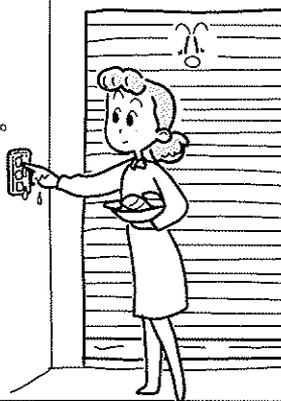
シャッターの開閉中は下を通らないでください。シャッターにはさまれ重大な事故となる危険があります。



シャッターの動作が終了するまで確認してください。自動運転のため、お子様などがはさまれますと、重大な事故となる恐れがあります。

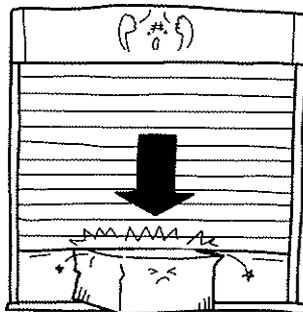


操作スイッチは濡れた手で操作しないでください。感電の恐れがあります。

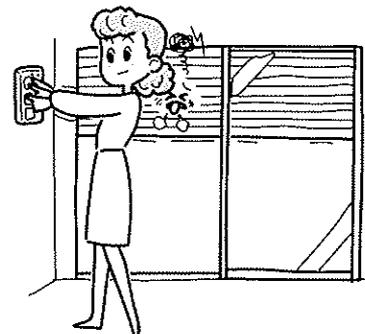


次のような注意を守らないと、ケガや故障の原因となりますので注意してください。

シャッターの開閉に支障となるようなもの(植木・箱など)置かないでください。シャッターや器物を破損する恐れがあります。



操作スイッチをむやみに押ししたり、乱暴な扱いをしないでください。シャッターが動かなくなることがあります。



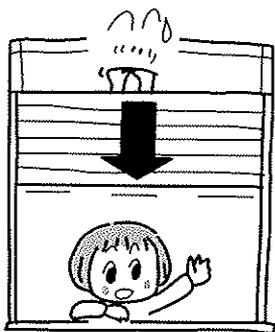
基本的な注意



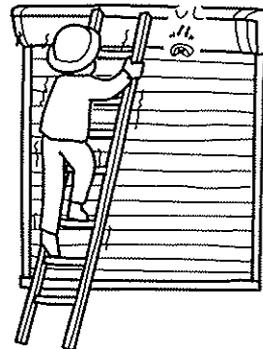
注意

次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。

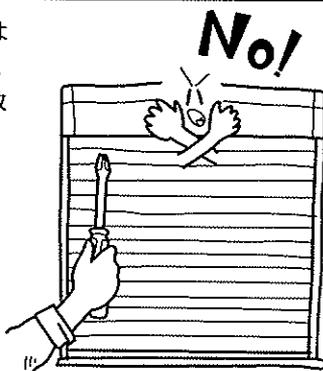
シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをする恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。



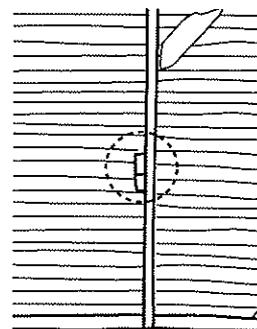
窓シャッターのボックスは変形しやすいので、はしごをかけたり上に乗ったりしないでください。落下してけがをする恐れがあります。



シャッターの分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造が原因で事故になる恐れがあります。

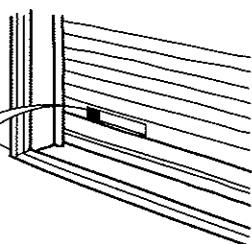


おやすみまたは外出の際は、防犯上、内側のサッシの錠をかけてください。また、強風時にも同様、内側サッシの錠をかけてください。

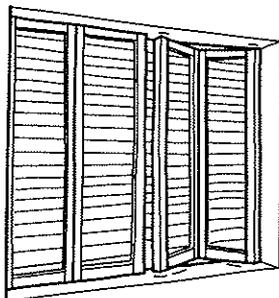


停電時の操作方法は14ページをご覧ください。

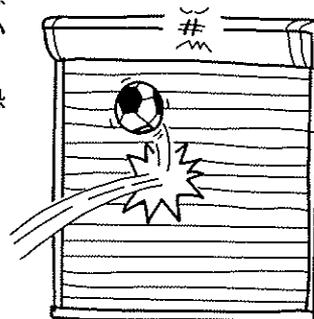
ラベル確認



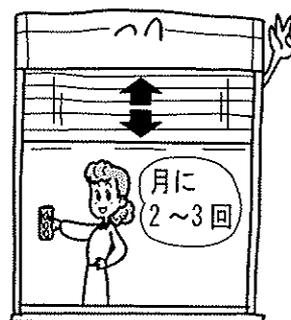
ただし、表示ラベルに記載されている機種が **電動02** の場合は、停電時に手動にて操作することができません。シャッターが降りている場合はこの窓から避難できませんので、他の場所から屋外へ避難してください。



窓シャッターには、故意に物をぶつけたりしないでください。変形して動かなくなる恐れがあります。



常時シャッターを使用しない場合でも少なくとも1カ月に2~3回は開閉してください。長期間動かさないとスムーズに動作しなくなります。

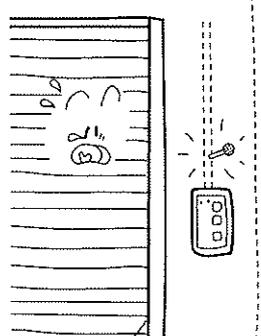


基本的な注意



次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。

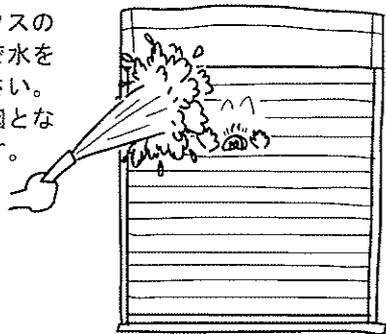
シャッターや操作スイッチのまわりの壁にクギを打たないでください。配線を傷つけますと漏電したりショートして事故になる恐れがあります。



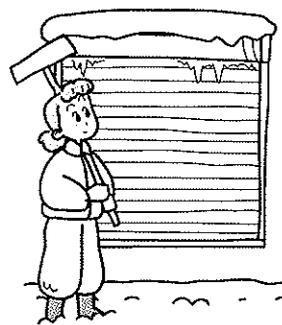
シャッター動作中、無理にひっぱったり、押し上げたりしないでください。故障の原因となる恐れがあります。



シャッターボックスの中に直接ホースで水をかけないでください。漏電や故障の原因となる恐れがあります。



雪が積もったり、氷結した状態で使用しますと故障の原因となりますので取り除いてからご使用ください。



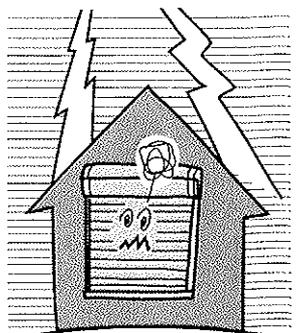
操作スイッチやリモコンスイッチに水をかけないでください。漏電や故障の原因となる恐れがあります。



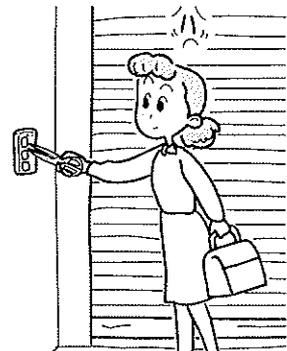
シャッターの連続運転は避けてください。長時間運転しますと、温度上昇のため、故障する恐れがあります。



落雷や静電気等の外部からの影響により機器が正常に作動しないことがあります。また、落雷の大きさによっては作動不良になる恐れがあります。



操作スイッチは鋭利なもので操作しないで下さい。操作スイッチの破損、感電の恐れがあります。



基本的な注意



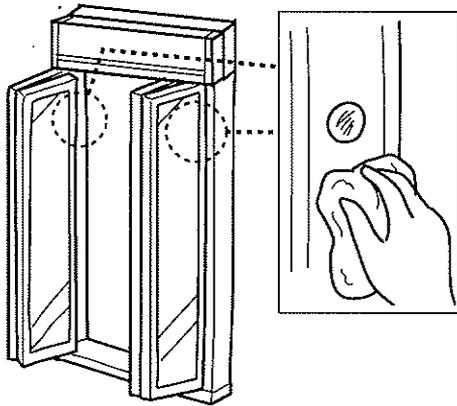
次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとケガや事故につながる恐れがあります。

《 電動02 をご使用の場合 》

だいたい3ヶ月に1度、ガイドレールについているセンサヘッドを見て、汚れている場合は柔らかい布で軽く拭いて汚れを落としてください。

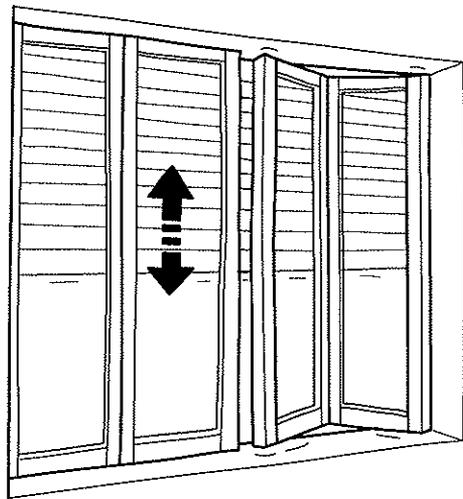
センサヘッドが汚れたままですと、シャッターが正常に動作しない場合があります。

清掃の間隔はご使用の環境により異なります。



《 電動02 をご使用の場合 》

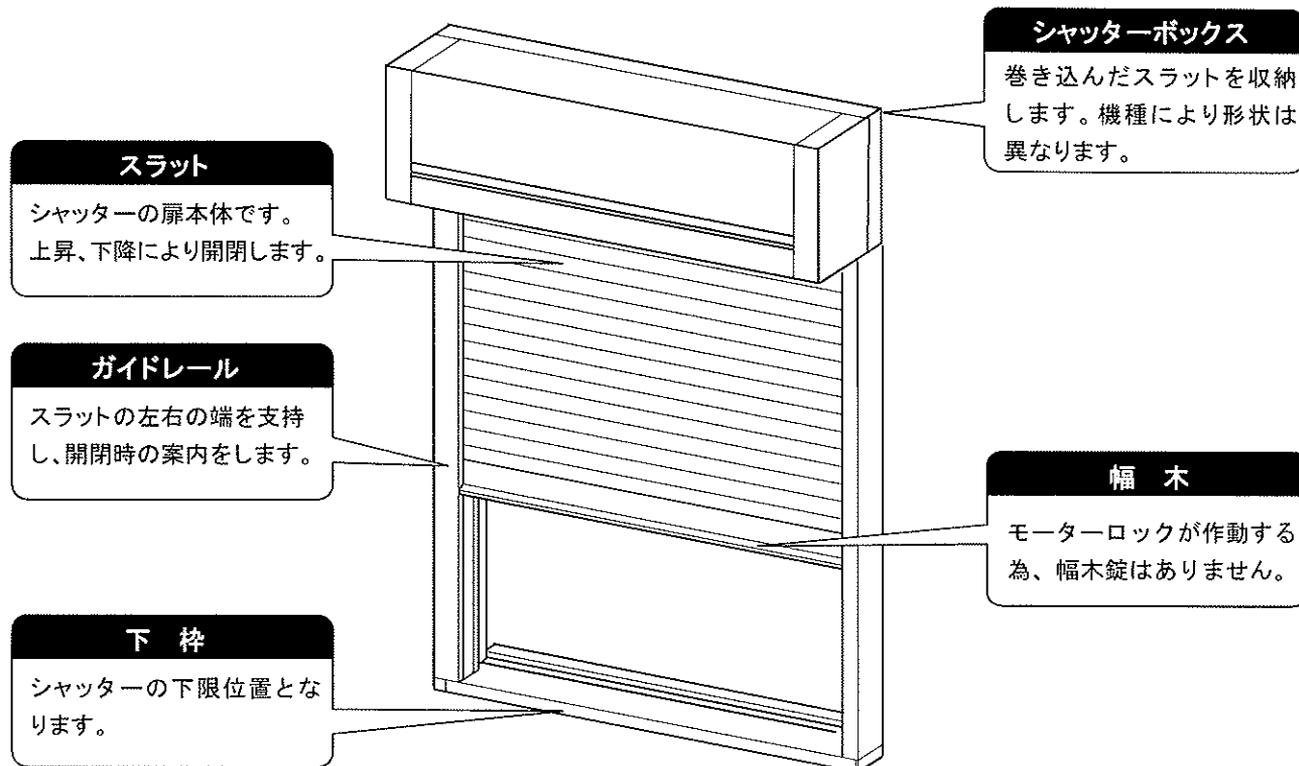
窓シャッターの開閉中はサッシ障子を開けないで下さい。窓シャッターとサッシ障子がぶつかり、故障の原因になります。



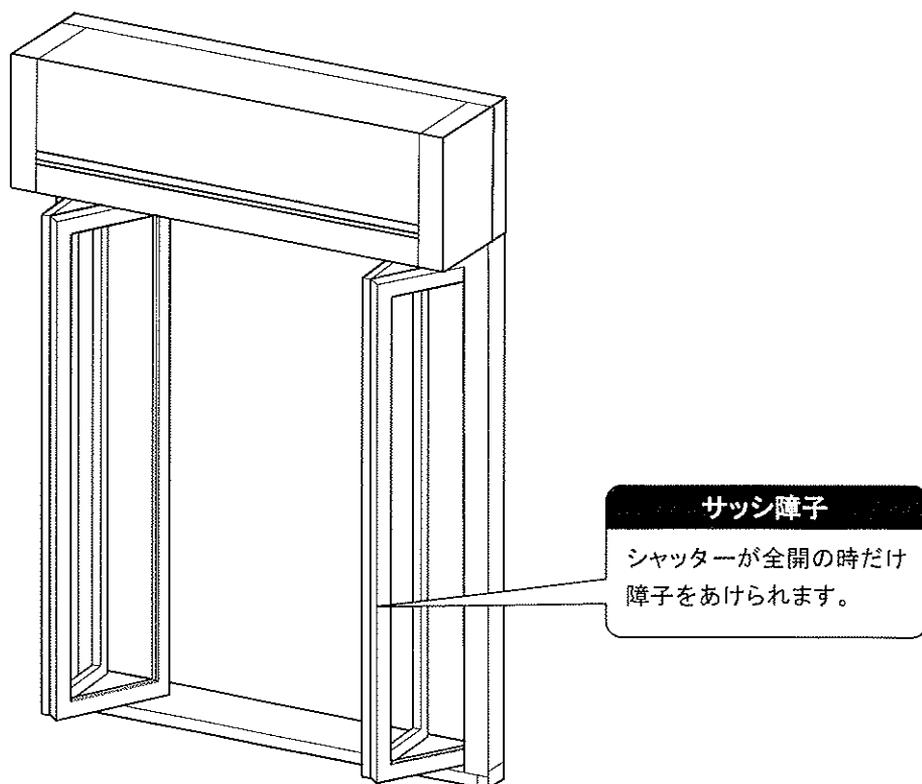
2.製品の概要

各部の名称とそのはたらき

本体《外観》



電動02 光電センサー付電動タイプ（全開口サッシ用）



各部の名称とそのはたらき

本体《内観》

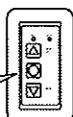
ビームスイッチ用光電センサーヘッド

サッシ障子を開けているときに誤ってシャッターを下降させないようにするための光電センサーです。

(電動02 タイプのみ)

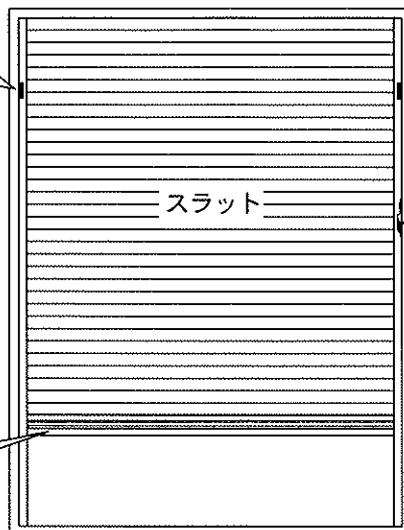
操作スイッチ

シャッターの開・閉・停止を行います。



幅木

モーターロックが作動する為、幅木錠はありません。



非常開放レバー

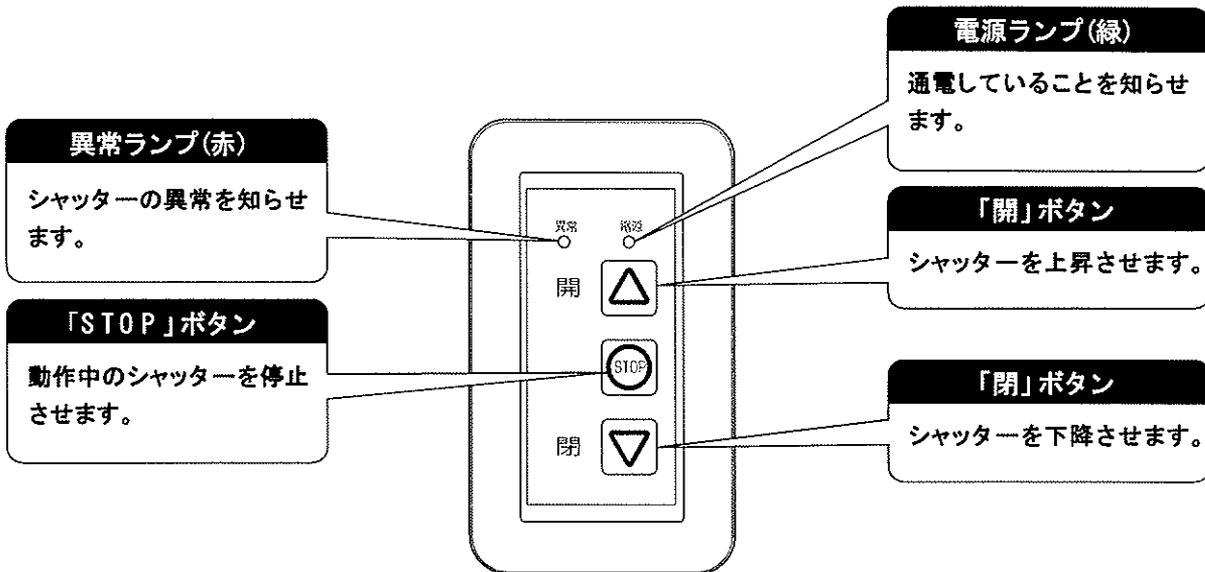
停電時に手動操作へ切り替えるためのレバーです。通常は引き下げておきます。

(電動01 電動03 タイプのみ)

※ 電動02 に非常開放レバーはありません。

各部の名称とそのはたらき

操作スイッチ



機種と機能

機種により機能が異なりますので、シャッター屋内側表示ラベルをご確認のうえ、下表をご覧ください。

機種		電動01	電動02	電動03
ロック方式	幅木錠	—	—	—
	モーターロック	○	○	○
障害物検知機能	負荷検知方式	○	○	—
	幅木部検出方式	—	—	○
光電センサー	ビームスイッチ	—	○	—
JEMA標準HA端子		※	※	※

「○」…標準装備、「—」…装備なし 「※」JEMA標準HA端子のみ装備（HA機器は別途）

各部の名称とそのはたらき

ロック方式

●モーターロック

シャッター停止時にモーター部ブレーキにて自動的にロックされます。

注記 ●おやすみまたはおでかけの際は防犯上、サッシの錠を必ずかけてください。

障害物検知機能

(電動タイプの機能です。)

●負荷検知方式 (電動01 電動02)

シャッターが閉動作中に障害物に当たり、モーターに負荷が加わるとその場で停止、または反転上昇し、停止します。

●幅木部検出方式 (電動03)

シャッターが閉動作中、幅木下部に障害物が当たると、反転上昇し、停止します。

注記 ●障害物検知機能は万が一の場合の機能ですので、開閉中はシャッターに触れないようにしてください。

光電センサー

●ビームスイッチ (電動02)

サッシ障子を開けている時に誤ってシャッターを下降させないための光電センサーです。

シャッター本体製品仕様

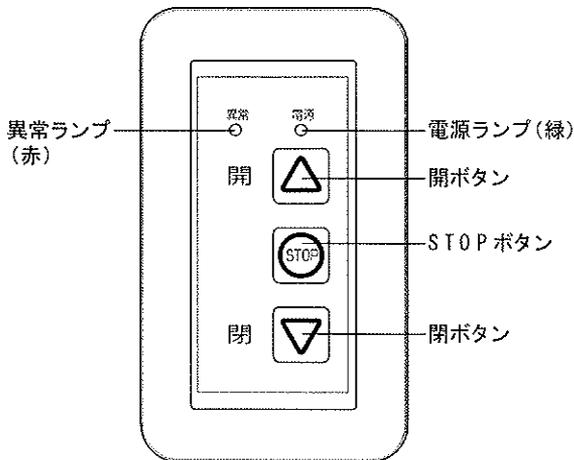
使用条件	周囲温度	-10℃~40℃(凍結を除く)
	周囲湿度	RH85%以下
	周囲環境	沿岸部、腐食環境などを除く
電動機構 (電動タイプのみ)	使用電源	単相100V
	周波数	50/60Hz
	定格消費電力	80W以下(待機時10W以下)

※シャッターを閉めても枠部材との隙間から入る光を完全に遮ることはできません。さらに暗くしたい場合は、遮光カーテン等をご利用ください。

3. ご使用方法

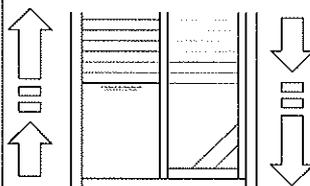
操作スイッチによる操作

●操作スイッチ



開けるとき	●操作スイッチ 開ボタンを押してください。
止めるとき	●操作スイッチ STOP ボタンを押してください。
閉めるとき	●操作スイッチ 閉ボタンを押してください。

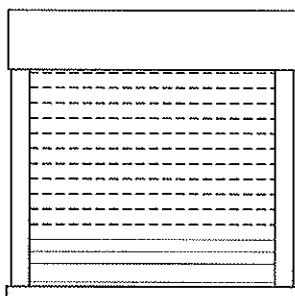
●開閉時シャッターの動きについて



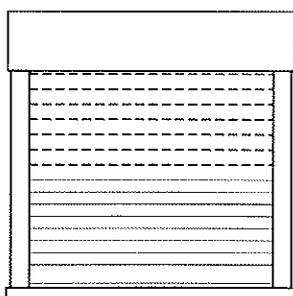
●本商品は、電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けのスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造となっております。特性上、開閉途中で引っ掛かるような動きをする場合もありますが、異常ではありません。(品質上問題ありません。安心してお使いください。)

電動03の換気採光操作

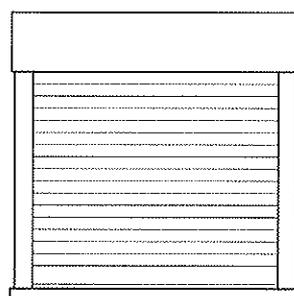
操作スイッチの「開」、「閉」ボタンでシャッターを開閉させ、お好みの位置で「停」ボタンを押し、シャッターを停止させてください。



換気採光状態



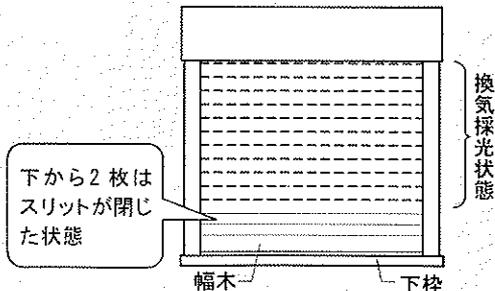
上部だけ換気採光状態



完全に閉めた状態

⚠ 注意

●換気状態にするときは、下から2枚以上はスリットが閉じた状態で停止させてください。幅木が下枠から離れた状態で停止させると、外から開けられます。



操作スイッチによる操作

障害物検知機能の説明



注意

- シャッターの開閉に支障となるようなものを置かないでください。シャッターや器物を破損する恐れがあります。
- 物を挟んだり、作動中に下を通過する等の行為はおやめ下さい。

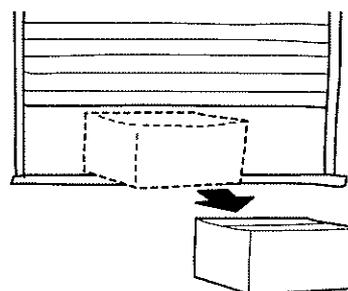
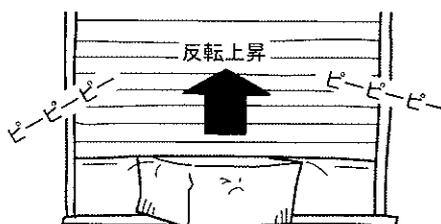
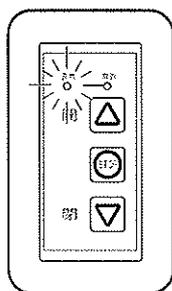
①下降中、障害物によりスラットに負荷が加わるとその場で停止または反転上昇し、停止します。

※「ピーピーピー」というブザー音とともに操作スイッチの異常ランプ(赤)が点滅します。

②障害物を取り除き、再度開閉操作を行ってください。

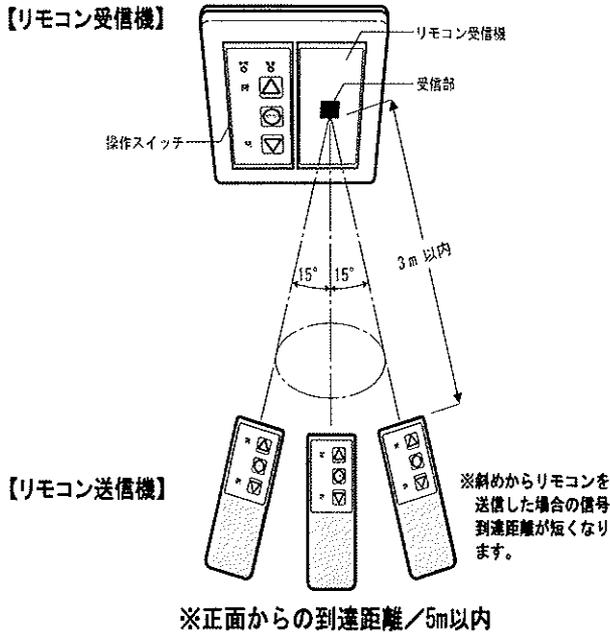
※開閉操作にて異常ランプは消灯します。

※シャッターの中央付近より上及びシャッターサイズが小さい場合は障害物検知機能が利きにくい場合があります。

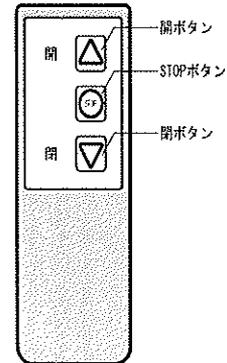


電動タイプ (別売り部品の赤外線リモコンによる操作)

1 リモコン受信機の信号到達距離



2 リモコン送信機の操作



作動状況	操作方法
開ける時	▲ 開ボタンを押してください。
止める時	⊖ STOPボタンを押してください。
閉める時	▼ 閉ボタンを押してください。
障害物検知装置が働いた時	障害物を取り除いた後、再度開又は閉操作してください。

3 リモコン送信機の電池交換方法

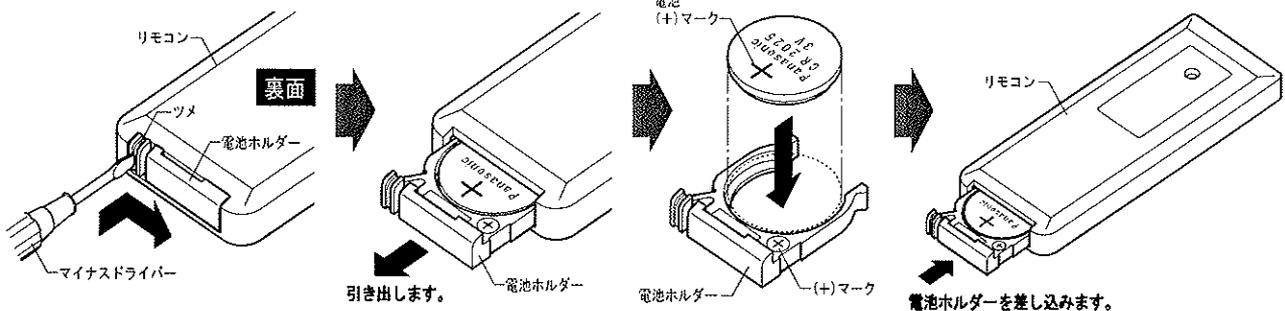
●リモコン電池：ボタン電池 CR2025……1個

※電池の(+) (-)は正しく入れてください。

※電池の寿命は、使用状況に左右されますが、2年ごとの交換をお勧めします。

①電池ホルダーのツメを、マイナスドライバー等で矢印の方向へ押しながら、電池ホルダーを手前に引き出します。

②電池ホルダーの(+)マークに注意して電池をのせます。



■品質向上を目的に設計仕様を変更する場合があります。

注意

操作に際し、下記の事項にご注意ください。

- リモコン受信機の中央の四角部分が受信部になっています。受信部分表面をふさぐと、リモコンによる操作ができなくなります。
- リモコン受信機に直射日光や強い光が当たると、正常に作動しないことがあります。その場合は、操作スイッチの開・閉ボタンで操作してください。
- リモコンの信号到達距離は正面から約5mです。リモコン受信機から上下・左右15° 以内で操作してください。斜めからリモコン送信機を操作すると信号到達距離は短くなります。

以下の項目はおやめください。故障の原因となります。

- リモコン送信機に強い衝撃をあたえないでください。
- リモコン送信機のボタンを鋭利なもので操作しないでください。
- リモコン送信機を濡れた手で操作しないでください。

停電時の操作方法

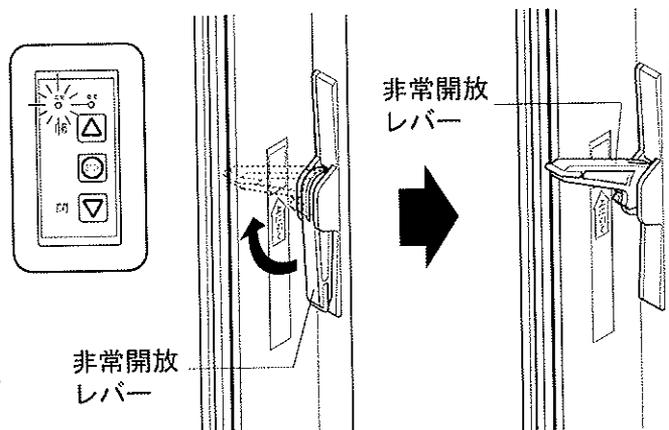
電動02 以外の電動タイプのシャッターは停電時には以下の手順で手動操作できます。

注意

- 手動操作への切替は「停電時または非常時」以外では行わないで下さい。故障の原因になります。
- 手動操作へ切り換えた際にシャッターが巻き上がり、幅木が非常開放レバーより上の位置まで上昇してくる場合があります。ご注意ください。

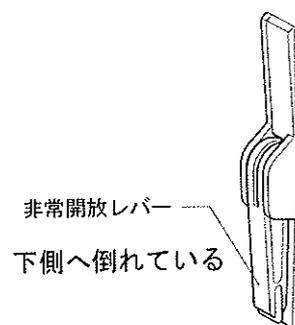
手動操作に切り替える

- ①ガイドレールについている非常開放レバーを引き上げると、手動操作に切り替わります。
※通電中に上記操作を行いますと、操作スイッチの異常ランプ(赤)が点灯し、「ピーピー…」というブザー音が鳴ります。ブザー音は70秒後に止まります。
- ②幅木の中央付近をもってゆっくりと一定の速さで開閉操作してください。
- ③非常解放レバーを下側へ戻すとモーターロックがかかり、手動操作から電動操作に切り替わります。



通電後の操作方法

- ①非常開放レバーが右図のように下側へ倒れていることをご確認ください。
- ②操作スイッチの「開」ボタンを押し、シャッターを上限で自動停止させてください。
すでに全開の場合は、「閉」ボタンを押すか、非常開放レバーを引き上げ、シャッターを手で20cmほど下げてから非常開放レバーを下側へ戻して「開」ボタンをおしてください。
※ **電動03** は停電復帰後の通電時に異常ランプが点灯し、「閉」動作が出来なくなります。シャッターが閉じている時は、「開」ボタンを押して全開にしてください。
すでに全開の場合は非常開放レバーを引き下げ、シャッターを手で20cmほど下げてから非常開放レバーを下側に戻して「開」ボタンを押して全開にしてください。
- ③その後は操作スイッチで通常動作可能です。



注意

- 通電後、上昇させずにシャッターを下降させると下限でダブついて停止します。また、もし障害物があった場合は反転上昇しません。(その場合は「開」ボタンを押し、上限で自動停止させると、通常動作可能になります。)
- 電動でシャッターが動いている最中に非常解放レバーを引き上げないで下さい。
- **電動03** は非常開放レバーを引き上げる際にシャッターが上昇し大きな音がありますが、故障ではありません。
- 非常開放レバーが引き上げられているときは操作スイッチでの電動操作は出来ません。
- **電動03** の場合は電動操作へ戻しても異常ランプ(赤)が消えず、「閉」ボタンを押してもシャッターは下がりますが故障ではありません。上記「通電後の操作方法」の手順で「開」ボタンを押して一度上限で自動停止させて下さい。異常ランプ(赤)は消え、通常操作できます。
- **電動03** は、手動で閉めたときは換気採光状態にしかなりません。(全閉しません)
- **電動02** は、停電時に手動にて操作することはできません。シャッターが降りている場合は避難できませんので、避難時は他の場所から避難してください。

4.お手入れ方法

清掃の仕方

●シャッターはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

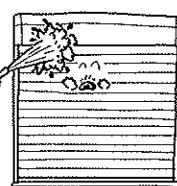
- ①柔らかい布で水ぶきをし、表面の汚れを拭き取ります。
- ②中性洗剤等で汚れを拭いて頂ければ、さらに長持ちします。



- ③硬い物で強くこすると表面に傷がつき、そこから錆やすくなりますのでご注意ください。



- ④シャッターボックスの中に直接ホース等で水をかけての清掃は、故障の原因となりますので止めてください。



※電動02はサッシの機構上、シャッター裏面の清掃はできません。清掃をお考えの場合はメンテナンス窓口にご相談ください。

清掃の間隔

●清掃は下記の基準をめやすとし、定期的に行ってください。

- ①臨海工業地帯
(京浜・中京・京阪神).....毎月1回
- ②海岸地帯.....毎月1回
- ③工業地帯.....2カ月に1回
- ④大都市地帯.....2カ月に1回
- ⑤中小都市地帯.....3カ月に1回
- ⑥田園地帯.....4カ月に1回



日常点検

⚠ 注意

日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止めてください。

シャッターの開閉状態については以下の事項を確認してください。

- 今までと違った異音がないこと。
- 今までと違った振動がないこと。
- 外観に使用上有害な変形がないこと。
- 上限下限で停止すること。

シャッターのお手入れ

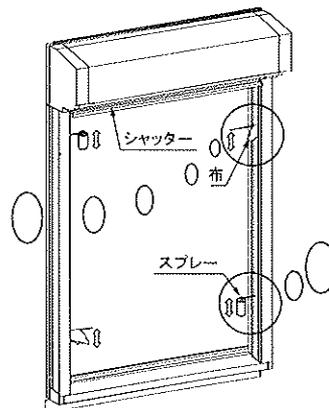
下記のような場合、シャッターのお手入れをお願いします。

- 1) シャッターの開閉が使用するうちに重くなってきた。
- 2) シャッターを開閉する時に音がする。
・原因として、レール内に砂埃等が入り、スラットのすべりが悪くなっている事が考えられます。下記の方法にて、お手入れしてください。

お手入れ方法

- ①シャッターを全開して、レール内の砂埃を布等にて拭き取ってください。
- ②レール内にシリコンスプレーのノズルを入れ、レール全体に(上から下まで)スプレーをしてください。
- ③スプレー後にスラットの開閉を2~3回行い、スラットとレールにオイルをなじませてください。

※粘性の高い潤滑材は、砂埃等が付着しやすくなりますので、シリコンスプレーを使用してください。



5.故障かなと思ったら(電動タイプの場合)

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
操作スイッチを押しても動かない。	停電していませんか? (操作スイッチ電源ランプ (緑)消灯)	通電までお待ちください。 通電後は必ず最初に「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	14ページ 「通電後の操作方法」
	配電ブレーカーがOFF になっていませんか? (操作スイッチ電源ランプ (緑)消灯)	配電ブレーカーをONにしてください。 通電後は必ず最初に「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	
	非常開放レバーが引かれていませんか? (操作スイッチ異常ランプ (赤)点灯)	非常開放レバーを下側へ戻してください。 レバーを戻した後は必ず最初に「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	
	シャッターが凍結していませんか?	とけるのを待って操作してください。	
操作スイッチを押しても動かない。 (電動02の場合)	サッシ障子が完全に閉まっていますか?	サッシ障子を完全に閉めてください。 サッシ障子が開いていると、ビームスイッチの働きでシャッターは下降しません。	6ページ
	ビームスイッチセンサが汚れていませんか?	ビームスイッチセンサを清掃してください。	
操作スイッチの「開」では動くが、「閉」では動かない。 (電動03の場合)	操作スイッチ異常ランプ(赤)が点灯している。	「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	14ページ 「通電後の操作方法」
シャッターが途中で止まる。	操作スイッチは(緑)が点灯、(赤)が消灯している。	停止位置がずれています。一旦非常開放レバーを引き上げてから下側へ戻し、操作スイッチの「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	

6. 製品保証について

本手引きは、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。

保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注1、注2）から起算して次の期間とします。

- ① 商品の不具合については2年間（電装部品については1年間）。
- ② 商品からの雨水浸入については10年間。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

注1）改修工事の場合は改修部分の工事完了日を起算日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

本手引き、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出ることです。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有償修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合。
- ③ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合。
- ④ 自然環境や住環境に起因する結露などの不具合。
- ⑤ 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯機などの排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 天災その他不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑦ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。
- ⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。
- ⑨ 植栽による不具合。（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など）
- ⑩ 引渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- ⑪ お客様自身の組立て、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する不具合。

■その他事項

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

本手引きによってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

「防犯性能の高い建物部品」は客観的に評価された防犯性能を有する製品で、侵入を完全に防ぐものではありません。

したがって、瑕疵担保責任による損害の補償の対象とはなりません。

また、侵入盗の破壊による製品の破損は犯罪行為ですので瑕疵担保責任には該当しません。

通常のご使用での瑕疵担保補償は他の製品と同様に対応させていただきます。

新日軽株式会社

本社/〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目1番1号（ゲートシティ大崎ウエストタワー）

☎ 03-5759-2100（代）

お客様相談室（フリーダイヤル）0120-37-2534